

平成31年度第1回

登別市教育委員会会議録

日 時 平成31年4月25日（木）午後4時30分

場 所 ホテル平安

第1回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成31年4月25日（木）午後4時30分
- 2 場 所 ホテル平安
- 3 議 案 議案第1号 登別市指定文化財の指定について
議案第2号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について
- 4 情報提供
 - (1) 平成30年度学校運営協議会実施状況について
 - (2) 幼小連携・接続推進リーダー活用事業について
 - (3) 平成31年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書について
 - (4) 平成31年度登別市立学校主要行事等予定一覧について
 - (5) 平成31年度学校施設等の工事事業計画について
 - (6) 平成31年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役について
 - (7) こいのぼりマラソンの申し込み状況について
- 5 出席者
(教育委員会5名)

教 育 長	武田	博	委	員	垣 内	登紀子
委 員	森 口	達	委	員	赤 井	秀 輝
委 員	堅 田	裕				

(事務局10名)

教育部長	堀井 貴之
教育部参与	中島 英治
教育部次長	近藤 正嗣
総務グループ建築主幹	逢坂 義人
学校教育グループ総括主幹	笠井 康之
学校教育グループ学務主幹	小野島 晶
社会教育グループ総括主幹	重山 大介
文化・文化財主幹	菅野 修広
学校給食センター長	吉田 富士夫
図書館長	綿貫 亨

○**武田教育長** それでは、本日の委員会は、5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより平成31年度第1回教育委員会を開催します。本日の議事は、議案2件になります。それでは早速議事に入ります。議案第1号「登別市指定文化財の指定について」事務局から説明をお願いします。

○**菅野文化・文化財主幹** 議案1は登別市指定文化財の指定であります。議案書は1ページです。本議案は、「幌別村役場文書」の市指定文化財の指定について、平成31年3月25日付けで登別市文化財審議会へ諮問し、3月27日に開催した審議会においてご審議いただき、4月16日付けで異議がない旨の答申がありましたので、登別市文化財保護条例第5条第1項の規定により、登別市指定文化財として指定しようとするものであります。指定番号は第9号となります。指定文化財等の詳細は2ページ、全体の写真は3ページに記載しております。指定物件の種別は、有形文化財の書籍・典籍・古文書で、所在は登別市郷土資料館、所有者は登別市教育委員会です。概要についてであります。明治5年（1872）から昭和21年（1946）までの登別市における行財政、教育等の基礎的事項を断続的に網羅する文書96点から構成されています。本物件は、幌別村役場によって文書の名称が確定し、後世に残すことが決定されていることから、登別市旧行政文書とはせず、幌別村役場文書としております。本物件は、開拓使幌別出張所から、戸長役場、二級町村制へと続く、登別市の歩んできた行財政の様子を連続して残しており、本市の歴史を明らかにする上でたいへん貴重であります。また、北海道庁や近隣市町との往復文書を通じて、本市にとどまらず、国や北海道の歴史の一端も垣間見ることができる資料群でもあることから、指定文化財として指定するものです。以上です。

○**武田教育長** ただ今、議案第1号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○**武田教育長** それでは議案第1号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり。）

○**武田教育長** それでは議案第1号については、承認いたします。次に、議案第2号、登別市スポーツ推進委員の委嘱についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**重山社会教育グループ総括主幹** 議案第2号、登別市スポーツ推進委員の委嘱についてご説明いたします。議案書4ページです。登別市スポーツ推進委員15名のうち6名が平成31年4月30日で任期満了となるため、スポーツ基本法の規定により委員の委嘱をするものであります。6名のうち再任が5名、新任が1

名となっております。新任の山田純一郎さんは少林寺拳法登別連盟役員として少林寺拳法の普及に尽力された方であると聞いております。任期は、平成31年5月1日から平成33年4月30日までの2年間となっております。なお、資料5ページの上から2つ目の表になりますが、非改選委員のうち、後藤恵史さんから辞任届が提出されており、現在後任を探しているところです。他に、5月31日で任期満了となる上野精二さんと佐藤太樹さんの再任との委嘱と合わせて5月の定例教育委員会に議案として提案する予定であることを申し添えます。以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

○**武田教育長** ただ今議案第2号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第2号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第2号については承認します。以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供をお願いしたいと思います。資料に基づき説明をお願いしたいと思います。

【情報提供案件】

○**中島教育部参与** それでは、私の方からコミュニティースクール学校運営協議会の平成30年度の実績につきまして、資料の1ページから4ページをご覧頂きたいと思います。昨年度の学校運営協議会の活動内容を報告いたします。各学校におきましては、年間3回程度、多いところでは5回の実施がありました。議題につきましては、学校の経営方針について承認をいただくほか、各教育活動の説明や実施状況、学校評価の結果などを通して、学校の運営状況をお知らせするとともに、土曜授業の計画や、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力状況調査の分析結果、学力向上・体力向上の取組、放課後や長期休業中のサポート学習、児童生徒の授業のようす、地域での挨拶のようす、いじめや不登校への対応、道徳教育の取組、地域との合同避難訓練の状況、地域行事の参加や伝統芸能の継承、地域交通安全の取組のお願いなど、話し合う内容はたいへん多岐にわたっておりました。中には、各種調査の分析結果、取組の成果や課題がわかりやすく丁寧に説明されているですとか、家庭や地域で何か学校に協力できることを言ってほしいという好意的で肯定的な意見が多いですが、課題を解決するための具体的な方策を示してほしいであるとか、携帯・スマホ依存や生活習慣の改善、児童虐待などの発見は、学校だけでは難しく、家庭や地域の協力が不可欠といった今後の課題も示していただいております。さらには、登別小学校と登別中学校のほか

に、29年度から幌別西小と西陵中、30年度からは青葉小・富岸小・緑陽中のように、同一中学校区の小中合同で協議会を実施することが広がりつつあります。昨年2月に策定しました登別市小中一貫教育基本方針では、目指す子ども像を共有し、学校運営協議会を柱に子どもの健全育成を図り、子どものよさを大切にされた指導を9年間継続して行うこととなっていますので、この学校運営協議会が地域とともにある学校づくりだけでなく、小中一貫教育の推進にも大きな役割を果たすことができるように、今後も働きかけてまいりたいと思います。私からは以上です。

○小野島学校教育グループ学務主幹 私からは、幼小連携・接続推進リーダー活用事業について情報提供いたします。資料5ページをご覧ください。今年度より、従前からの本市幼保小中連携協議会の取組を土台として、道教委の新規事業に取り組み、学校間連携のさらなる充実を目指すことといたしました。参考までに5ページからの実施要項と10ページからの実施計画書を添付しましたが、事業の概要につきましては、推進リーダーとして加配措置をされた小学校教員が幼稚園などの幼児教育施設と小学校をつなぎ、例えば子どもや指導者の交流、合同研修や授業参観などをコーディネートするなど、双方向の学校間接続につながる様々な取組を企画・推進する内容となっております。登別小の柳瀬珠美教諭を推進リーダーに、登別小とコロポックルの森の連携を中心に登別地区での取組の充実を図り、成果を全市で共有するという流れで進めてまいります。少し見にくいですが、9ページのような事業イメージとなります。加配措置されている学校を配置校といいまして様々な取組をしている。それを各種機関と連携しながら様々な取組をしていくということになります。このように事業に取り組むといいましても、これまで市教委が進めてきた連携協議会の取組を、本事業の推進リーダーと協働のもと、より充実した内容を目指し進めていくことに変わりはありません。各地区での連携に係る取組も継続して働き掛けてまいります。今年度、連携協議会としては、全小学校でのスタートカリキュラムの作成・整備を行う計画としておりますので、本事業を活かしながら、精力的に取り組んでいきたいと考えております。以上です。

○笠井学校教育グループ総括主幹 私の方からは3番目、平成31年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書についてと4番目、平成31年度登別市立学校主要行事等予定一覧についてのこの2点を一括で説明させていただきます。資料12ページですけれども、平成31年度の児童生徒数、学級数になります。4月10日現在、小学校につきましては、児童数が2,091人、前年同期比で49人の減となっております。うち特別支援学級児童につきましては63人、前年比4人減となっており、卒業生と新入生の児童数の差が減要因となっております。

学級数につきましては、標準学級数では3クラス減となりましたが、北海道の事業である第2学年において1学級あたり35人で編制できる少人数学級実践研究事業に驚別小学校、富岸小学校、青葉小学校が該当したため、結果的には普通学級85クラス、特別支援学級20クラスとなり、ともに増減はありませんでした。教職員数につきましては、加配措置の外国語巡回教諭の配置がなくなり、言語指導通級教室等の配置数が減となりましたが、新たに幼小連携加配が配置されるなどし、171.5人の配置となり、前年比1人減となっております。次に中学校についてですが、生徒数が1,038人、前年同期比53人減となっております。うち特別支援学級生徒につきましては30人、前年比2人減となっております。学級数につきましては、普通学級、特別支援学級がともに1クラス減となりました。普通学級は幌別中学校で1クラス減、特別支援学級は驚別中学校で肢体不自由の生徒が卒業し在籍者がなくなったことにより当該クラスの減となっております。教員数につきましては、92人の配置となり、クラス数の減による影響で前年比3人減となっております。児童生徒数合計では、3,129人となり前年同期比102人減となっております。

次に13ページは、平成31年度登別市立学校主要行事等予定一覧になります。各学校の始業式、終業式につきましては、記載のとおりとなっております。小学校の運動会につきましては、6月1日が1校、6月8日が3校、6月15日が4校となっております。小学校の修学旅行につきましては、若草小学校が8月下旬、他の7校は9月中に実施し、いずれも道南の函館方面に行く予定となっております。中学校につきましては、すべての中学校が5月に東北方面に行く予定です。土曜授業につきましては、幌別中学校、幌別小学校、幌別東小学校がそれぞれ6回、残りの10校が4回実施となっております。また、記念行事といたしまして、12月1日に幌別東小学校が開校50周年記念式典を予定しております。以上であります。

○逢坂総務グループ建築主幹 私からは(5)の、平成31年度学校施設等の工事事業計画についてを説明させていただきます。資料の14ページをご覧ください。まずは小学校からですが、富岸小学校の受変電設備であるキュービクル更新工事を6月から9月を予定しています。次に、幌別西小学校校舎耐震改修工事については、昨年7月から引き続き工事を実施しており来年2月までを予定しています。幌別西小学校旧校舎レンガ棟解体工事を5月から9月、幌別西小学校渡り廊下改築工事を5月から2月まで、幌別西小学校雨水排水ポンプ改修工事を6月から9月までを予定しております。次に、登別小学校校舎耐震改修工事7月から2月までを予定しています。それと同時に大規模改造工事の外壁を7月から2月、同じく屋根の工事を7月から10月まで予定しています。次に中学校にいきまして、登別中学校屋内運動場暖房機更新工事を工7月から11月まで予定しており

ます。これは温風暖房機のボイラーの更新となります。次に社会教育施設ですが、鷲別公民館受変電設備更新工事を8月から11月まで市民会館非常用照明蓄電池設備整流器更新工事を7月から10月まで、市民プール濾過器改修工事を5月から2月までを予定しております。次に給食センターですが、給食センターの配送口改修工事が6月から10月に予定しています。これは配送口を建具等で間仕切りをして、ゴミが入らないようにする内容の工事です。次に図書館ですが、図書館の防火壁設置工事。これは図書館の3階の防火シャッターに不具合があったため、その代替として防火壁を設置する工事となります。これを6月から9月までで予定しております。その他委託としましては、幌別東小学校校舎耐震改修工事実施設計委託及び幌別中小学校校舎耐震改修工事実施設計委託を6月から2月までを予定しております。私からは以上です。

○**近藤教育部次長** 私の方からは、平成31年度登別市小中学校校長会教頭会三役について情報提供させていただきます。資料の15ページをご覧ください。平成31年度登別市小中学校校長会教頭会三役については資料の15ページに記載のとおりとなっておりますのでご覧ください。以上です。

○**重山社会教育グループ総括主幹** 第44回登別こいのぼりマラソンについて情報提供いたします。資料等は用意しておりませんので口頭でご説明いたします。5月12日、日曜日に登別こいのぼりマラソンが開催されます。既にエントリーを締め切り879名で、当日の幼児オープンと併せますと、1000人規模の参加見込みとなっております。以上です。

○**武田教育長** その他情報提供ありませんか。
無ければそれでは(1)から(7)まで説明を終えましたけれども、ご質疑等ございませんか。

○**垣内委員** 先ほど、こいのぼりマラソンのエントリー数を教えていただきましたけれども、確か、最初の締切ではなかなかエントリーする方が少なくて、延長したというふうに伺っていますけれども、延長した中でかなり効果はあったのでしょうか。

○**重山社会教育グループ総括主幹** はい。そうですね。延長してから何人かは今ちょっと分からないのですが増えています。

○**垣内委員** いろんな地域で最近こういったマラソンが実施されていると思うんですけど、その中で登別らしいマラソンというのを、いろいろと試行錯誤されているところかと思うんですけども、そういうこともイベントにいった方が良いのかなと、走る方にはやはりちょっと距離が短いのかなとか、フルマラソンに近いくらいを走っていたりとか、そういう方が全国から集まって来るような大会が多くなっているような気がするんですよね。そういうことも含めて何か登別らしいコースなり、内容をみんなで考えていけたらいいのかなというふうに思

っております。

- 重山社会教育グループ総括主幹** 実行委員会の中で協議してみたいと思います。
- 武田教育長** 今までの話し合いの中では特に登別らしいということは話し合った事は無かったですか。
- 重山社会教育グループ総括主幹** はい。そうですね。距離とかも今のところ何も、今までのとおりということで。
- 垣内委員** マラソンを実施する自治体が多くなってきている中で、結構フルマラソンというのが多くなってきているように思うんですね。5キロとか10キロとかという単位だとなかなかエントリーし辛いとか、もう少し走らせてほしいとか、そういう声もちょっと聞いているものですから。実行委員会の中で検討して頂ければありがたいです。
- 堀井教育部長** ルール確認とか、いろいろあるとは思いますが、やはり登別市らしいとか、そういうような他と差別できるような、そういった特色を出せるようにということで、ご意見を頂きましたので、実行委員会の方に相談してみたいと思いますので、よろしくお願いします。
- 垣内委員** よろしく申し上げます。歴史のあるこいのぼりマラソンは、私の子どもが、今は50歳近くなりますけれども、その子たちが小学校の時に本当に楽しみにして走っていたなということを思い出すものですから。本当に継続して、その中に付加価値を付けて、継続していくことを望んでおります。よろしくお願いします。
- 武田教育長** そのほか、ございませんか。
- 堅田委員** コミュニティースクールで、毎年、学校歯科医という立場で登別中学校、登別小学校、コロポックルで、3施設合同でやっている所に参加させていただいているんですけども、登別は1校ずつ、1施設ずつなので、わりと皆さんの顔が見えて行きやすいところがあるんですけど、2校が合わさっての中学校の部分というところがどういう感じなのかわからないんですけど、やはりいろんな方の個がわかる間柄になるという意味では、もっと推進して合わさってやってもらった方がいいのかなという気はします。地域の人もできるだけ引っ張り出してきてくれた方が、小さい時からみんなまちで見ているはずなので、その意見を聞いたら、例えば登下校の安全のための面に役立つとか、教育してもらおうとかというのでも顔が見えるとわかりやすいと思うので、できるだけ合同でやってもらった方がいいのかなという気はします。
- 武田教育長** 応援するという意味では、コーディネーターを各学校に配置していこうと、将来的には一人ずつ、というような取組をしていこうとしていますし、もう一つは小中連携の話し合いで、小中連携の担うことを学校の方で、例えば緑

陽中学校区であれば青葉小学校と富岸小学校の交流をもう少ししっかりやろうと。青葉小学校や富岸小学校の運営委員さんはできるだけ、中学校の運営委員さんに重複でやっていただければずっと繋がるのではないかと、いろいろ地域でそういうことを我々もお願いしていて、まさに今、委員がおっしゃったような取組をどんどん進めていきたいなというふうに思っています。登別は確かに全体が一つの器の中という意味では、交流が活発にできるというような、緑陽は青葉と富岸の間に体育館だとか浄化センターがあったりして、隣町のような感覚があつて難しいのですが、そこを何とか繋ぎながらやっていこうということで、富岸小学校の柴田校長先生にも非常に熱心にやっていただいていますので、うまくいけるかなと思っています。

○**垣内委員** 私も今、堅田委員がおっしゃった事をまさに、中学校を主体として、そこに通う、本来であれば幼稚園や保育所からもそうだと思うんですけども、連携して一つのテーマに向かつて、課題を解決していくという方法が分かりやすくていいのかなというふうに思っています。

○**堀井教育部長** 課題について、地域と学校ということで、絆がきちんと固まるような形でやっていきたいと思っています。ただ、今この段階で中学校区単位で、結び付くようなことを考えているものですから、いろいろありますけど最終的にはそういった方向に向かうような形でやっていきたいと思っています。

○**中島教育部参与** 初年度よりは2年目くらいまでは堅田委員が言われたとおり、顔を見せるというような要素がもちろん重要だと思うんですけども、結局は小中連携、その小学校が二つ三つあってもいずれは中学校に上がるといった時に、その小学校の段階で顔見知りになり、課題を共有してそれが中学校に上がれば本当に小中連携もスムーズにいきますし、その校区自体が盛り上がっていいのではないかと思います。この一番先陣を切ってやってくださったのが昨年、青葉、富岸緑陽ですので、こういう取組でこういう成果があるよというのは、ここで終わるのではなくて、他の校区にも広げていかなければ意味が無いと思うんですね。西陵中学校と幌別西小学校は1対1ですので非常にやり易いかなと思っています。

○**武田教育長** そのほか、ございませんか。

○**赤井委員** 男女混合名簿の関係で、道通を見たら札幌市が来年度中には全校で実施するみたいを書いてましたね。今年、中学校で緑陽中学校に行ったら入学式が男女混合でやっていましたね。そういう動きというのがこちらにも出てきているのかなと思いました。

○**堀井部長** 西小学校の方でも名簿は男女混合でやっていました。だんだんそういった方向に向いていくのかなという感じを受けました。

○**武田教育長** 昨年の会議で道教委の方から現状はこういう現状ですよという

所だけが、例えば北海道が2割以上の混合名簿なのだけれども、全校的にはもう4割を超えてますとか、そういう情報提供がありました。これは今の現状では学校長の判断で作成してもらおうという方針で登別はやっていますので、札幌のような事例が出てくれば、やはり委員会全体として、男女共同参画社会に向けてどうあるべきかということは我々としても情報提供してあげなければならない。学校としては教育委員会を飛び越えて情報を持ってくるということはなかなか無いでしょうから、そこはある程度の進捗状況を見ながら、我々も積極的に情報を提供していく。その上で学校で判断してもらおうということになると思います。

○**垣内委員** 男女混合名簿なんですけれども、以前はそれを実施した小学校があったんですね。参加した入学式か卒業式かちょっと忘れてしまいましたが、でもちょっと1、2年でまた戻ってしまったという所もありましたね。

○**武田教育長** 男女共同参画社会の構築に向けていろんな基本計画等ができた時には、そういう取組が実態でどうという事よりも先に進んでしまった。そういう時代があったんですね。ところが実際に学校で処理をしていくという段階になるとやはり、少し不合理的な所があったりというところで、また元の形に戻ってしまったという所があったものですから、そういう事の繰り返しのなかから、成熟して行って、本来の共同参画社会ができてくるというふうに思っていますから、少しの間はそういう事も出てくるのかなと思っています。

○**武田教育長** ほかにご質疑ございませんか。
（「ありません」の声あり）

○**武田教育長** それでは、情報提供はこれで終了といたします。最後に5月の教育委員会の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

○**近藤教育部次長** 5月の教育委員会の開催日につきましては、最終週の木曜日ですと30日になりますがいかがでしょうか。

○**武田教育長** それでは、事務局より提案のありました5月30日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。
（「はい」の声あり）

○**武田教育長** それでは5月の定例の教育委員会につきましては、5月30日木曜日16時30分から市民会館小会議室で開催するという事で、詳細につきましては後日事務局よりお知らせ頂くとすることにします。以上で、本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。